

アカデミー賞受賞監督アッテンボローが贈る壮大な叙事詩!

友よ、君の魂の叫びは忘れない——
いま、熱い怒りがこの大地を駆けぬける!

遠い夜明け

CRY FREEDOM

ユニヴァーサル映画提供・マーブル・アーチ製作 ケビン・クライン ペネロープ・ウィルトン デンゼル・ワシントン

リチャード・アッテンボロー作品 "CRY FREEDOM" 原作 "BIKO" "ASKING FOR TROUBLE" トナルト・ウッズ・ソバライゼーション (早川書房) 音楽 ジョージ・フェントン エグゼクティブ・プロデューサー スチュアート・クレイグ
編集 スリー・ウォーカー 製作 norman・spencer・ジョン・プライリー 撮影 ロニー・テイラー 製作担当 デレンス・クレック 脚本 ジョン・プライリー 製作 監督 リチャード・アッテンボロー ユニヴァーサル映画 配給 UIP配給

《かつて例をみない激賞の数々!》

映画史に永遠に残る大傑作となるだろう。

〈ガネット・ニュースペーパー〉

パワフルな映像、強烈なサスペンス、

「驚嘆!」この一語につきる。

〈ニューズ・ウィーク〉

胸をうつつ友情、息もつかせぬ冒険、

すべてに超一級!

〈NBC-TV〉

インドの大地が生んだ偉大な魂ガンジーの波乱の生涯を描き、米・英のアカデミー賞をはじめ数多くの賞に輝いたリチャード・アッテンボロ監督。続く「ゴラライン」では、フロード・ウエイのスターを夢みるタンサーの溢れんばかりの若い躍動を斬新なスタイルで、見事な青春群像として綴った。その彼が、多くの障害と危険に直面しながら、映画作家としての生命を賭け、全情熱を傾注して演出にあたった熱き友情と闘争のドラマ、それが「遠い夜明け」だ。公開と同時に全米マスコミが心からの賛辞を送ったこの映画で、アッテンボロが舞台に選んだのは南アフリカ共和国。人種隔離のアパルトヘイト政策を実施するがため、たびたび世界情勢に激震をひき起こす震源地となる国だ。

その渦中に身を投じた若き黒人運動家があった。彼の名はステイブ・ピコ。南アでは許されるはずもない自由を夢見て、しなやかにそして、したたかに闘い抜く男。厳重な拘束下に置かれながらも、暖かい心を失わぬ慈悲深いピコは、全世界に影響を与え、黒人達からは神と謳われていた。公権を喪失した彼の前に、地元新聞社の編集長ドナルド・ウッズが現れる。物静かだが力強く説得力のあるピコの生き方に、魅せられ、共鳴していくウッズ。初めて会って以来、ピコに真の人生哲学を学んだウッズは、黒人と白人という枠を越え、熱い絆で結ばれていく。しかし、ピコの信じる道を、この国は歩ませはくれなかった。多くの人の心を揺り動かすピコの力を恐れた南アの警察は拷問の果て、若き黒人運動家の命を奪り去った。志なきかばで散った友の変わり果てた姿を目にした時、ウッズは心に誓った。類不遍の愛を覚えてくれた友の心を、全世界に伝える。かつてのピコと同じように厳重な監視体制のもとにいたウ



■キャスト
ドナルド・ウッズ…ケビン・クライン
ウェンディ・ウッズ…ベネローブ・ウィルトン
ステイブ・ピコ…デンゼル・ワシントン
女医ランペール…ジョセット・シモン
クルーガー警視総監…ジョン・ソー

■スタッフ
製作・監督…リチャード・アッテンボロ
原作…ドナルド・ウッズ
脚本…ジョン・プライリー
製作担当…テレンス・クレグ
撮影…ロニー・テイラー
音楽…ジョージ・フェントン
コスチューム…ジョン・モロ

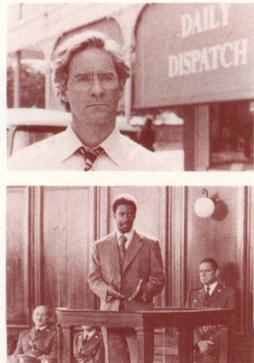
遠い夜明け

CRY FREEDOM

アカデミー賞
最多受賞記録へ11部門を
破るのはこの作品!

ここを描かれるのは決してフィクションではなく、現代の南アフリカの姿である。アッテンボロは美話を基に、決してイデオロギイ映画ではない、愛と友情の熱い感動の世界を見せてくれた。彼の宿願の作品というだけに、全才能が注がれたパワフルで、スリルに満ちた壮大なスケールの映画となっており、アカデミー賞各部門の最有力候補として一挙に浮上してきた。

製作も担当したアッテンボロ監督のもと、「ガンジー」に引き続いて一大叙事詩のシナリオを執筆したジョン・プライリーが、「アラビアのロレンス」のノーマン・スベンサーと共同プロデューサーとなった。撮影は「ガンジー」「ゴラライン」のロニー・テイラー、音楽は「ガンジー」のジョージ・フェントン、コスチューム・デザイナーをジョン・モロが担当。



特別鑑賞券(一般¥1,200・学生¥1,100)ペア・チケット(お二人様で¥2,100)好評発売中!

来春3月ロードショー!

有楽町マリオン9F
みみ内
ピカデリー1
(201)2881

紀国屋ビルうら
新宿ピカデリー1
(352)1771

スペイン坂・ライズビル2F
渋谷ピカデリー
(464)0051